

# いわむら

(1)

昭和52年2月1日

発行所 岩室村役場  
印刷所 巻・北洋印刷K.K

No.178

## 岩室村の人口

(12月31日現在) 前月対比

男	4,342人	(-4)
女	4,811人	(+5)
計	9,153人	(+1)
世帯数	2,168世帯	(0)

(住民基本台帳による)



## 総力を結集し

### 着実な前進をめざす

#### 昭和五十二年新年祝賀会

昭和五十二年新年祝賀会は去る一月五日、新装なった静閑荘で、静閑荘の増築工事落成披露とあわせ、村内各層の代表及び、横山喜八郎県議会議員をはじめ、米賀多数を迎え盛会裡に開催されました。新しい年の出発を祝い、村勢の伸展についての抱負を述べ合い、岩室村のあるべき姿を探究することと、各界の連帯と協調を深める目的で毎年村が主催し行っているもので、本年は特に「新年度に望むこと」をテーマに、各界代表による、村勢発展方策についての提言が行われるなど、明かるい住みよい村づくりに向かつて、総力を結集し、着実な前進をめざすことを確認いたしました。



▲新年の決意を述べる金子村長

各界の代表による提言発表に先きだち、金子村長は年頭のあいさつを行い、昭和五十二年も厳しい財政状況が予想されるが、村の健全発展を第一義に住民本意の行政を推進すると前向きに、次のような重点施策を発表しました。

#### 岩室村として今年何をなすべきか

村長

私は次の三点を掲げ施策の柱としたいと考えております。

今年もう一年、五十一年度程度の予算を計上することによって概ね生活に密着した路線の改良が果され、道路条件がかなりよくなるという考えから、

#### ◎村道の改良整備の促進

次に、昨年和納小学校校舎の窓をサッシに入れかえを行ったことから、今年からは、岩室小学校の屋外グラウンドの整備を実施するなど、学校教育をとりまく諸条件整備のため、

#### ◎教育施設の整備充実 施策の継続

第三点が、いわゆる勤労青少年の健全育成という見地と、近年のスポート志向住民に於いての、

#### ◎ナイター施設、設置の実現

その他、諸産業の発展施策は従来通り積極的に推進

することはもちろんであり、また、これまでの長期総合計画の見直しを行い、村民憲章制定など、住みよい村づくり構想を盛りこみ、調和的發展計画を樹立するための作業にも着手したいと考えています。

#### 各界代表による提言から

(文責編集子)



金子 佐氏

教育委員長

幼児教育については、村内三つの保育園で保育しておりますが、間瀬保育園を除いては、いずれも過密しているのが現状であり、入所希望世帯は一層増加することは必至であると思っております。

したがってこれに対応できる保育行政の確立が急務であると同時に、物を知らずとも、知識欲が旺盛な時期であることから、幼稚園の設置についても真剣に

考えてもらいたいと願っております。学校教育については、教育施設の整備施策を積極的に推進いただいていることには関係者一同喜んでおります。

更にこの施策のなかに、次の諸点について取り上げ早期実現をめざしていただく提言いたします。

- 間瀬小学校改築の実現
- 教育効果を高めるため教材、教具の充実
- 給食に米飯導入の機運が高まってきている折給食センター方式による集中調理システムの実現

このほか、社会教育の充実等の課題もあります。その年代年代によって、新しい知識が必要であり、生涯学習の時代ともいわれている今日であります。名実共に、教育優先の対策を期待しております。



農業委員会 会長

吹井 和一郎氏

昭和五十一年産米は全国的に不作が伝えられるなか(次頁へつづく)